

えか 絵やポスターを描くためのポイント

① 何を描こうか、テーマを決める。

- ・テーマをよく読む。頭に浮かんだ絵や言葉を別の紙に書き出す。

② 条件は、何かたしかめる。

- ・たてがき、よこがき、四つ切り画用紙(38×54くらい)

(絵画は、絵です。ポスターは、字が入ったり目立つようにデザインしたりしたものです。)

③ どんなふうに描こうかな。

- ・描きたいものは、大きく描く。目立つことが大切。

- ・字(標語・スローガン・ことば)をどこに、どの大きさで入れるか考える。

- ・別の紙に、鉛筆で描いて予想を立てる。

- ・画用紙に薄く鉛筆で描いてみる。

- ・パソコンで5cm角以上の文字を打ち出し、配置して上からなぞって跡をつけると字形が美しい。(高学年)

いよいよ本番!

- ・低学年は、絵や字をクレヨンでかく。まわりを絵の具で色をつける。

- ・中学年は、絵や文字の輪郭をクレヨンや油性マジックでかき、絵の具で色をつける。

- ・高学年は、輪郭をBの鉛筆で薄く描く。(アクリルガッシュやポスター絵の具を使うとよい。)

- ・ポスターは、絵の具をシチューくらいの濃さで描くと強い印象になる。

- ・広い部分は、多めに絵の具を出す。(豆腐のカップなどを使うとよい。)

- ・背景もすべて色をつける。白色を少しませるとむらが目立たない。まわりを、うすい色(黄・黄緑・水色、ピンク、クリーム色など白色をませた色)の絵の具でぬる。夜のイメージなら黒や紺もあり。

- ・まわりの広いところは、太筆やたんぽ(てるてるぼうずの形のもの)をつかうとよい。

- ・字は、背景が薄い色なら、黒、紺、青、赤、緑の濃い色で描くと目立つ。

- ・色の組み合わせが、不安なときは、色紙を重ねて配色を考えよう。

- ・赤と緑など強い色同士は、目が疲れるので、間に白を入れたり、面積比を変えたりしてみよう。

- ・優しい色と強い色のバランスを考えよう。

絵(絵画)

- ・絵の具をのせるようにてんてんと連続で筆を運ぼう。絵の具の濃さは、ジュースくらいがいい。

- ・遠くの物から、優しい色(レモン、黄、肌色、黄土、黄緑、水色、橙...)から、色をのせていく。

- ・白色を少しづつ増やして色を混ぜて、明るくする部分を作ると絵に表情ができる。

- ・緑色を明るくするときは、黄色を混ぜる。深みを出したいときは、水色や青色や藍色を少したすといい。

- ・茶色は、黄土色や黄色や黒色と仲がいいから、少し混ぜるといろいろな茶色ができる。

きりとりせん

課題(題名)				
学校住所	440-0065 愛知県豊橋市仁連木町15番地 電話(0532)62-0448 FAX(0532)65-1204			
学校名	とよはししりつあずまだしょうがっこ 豊橋市立東田小学校 年組(男・女)			
氏名				

応募用紙を必ず作品の裏右下(うらみぎした)へはること。⑥⑬⑯は、別紙の指定の応募票をはる。